

WWLプログラム 生徒が立案する課題研究「グローバル探究」 - 授業外活動「探プラ」を通して -

① 概要

本校では、グローバルな社会課題に関する課題研究「グローバル探究」を実施している。この授業では、興味関心のあるテーマについてテーマを設定し、仮説検証を進め、論文にまとめている。生徒がより主体的に探究に向かう姿勢が高まるよう授業外活動のグローバル探究プラス（「探プラ」）を立ち上げ、生徒が授業づくりに関わる取り組みをしている。「探プラ」で出た意見を授業に反映することで、生徒の主体性が育まれることを示唆する結果が得られた。

② 背景・課題

①「グローバル探究」(総合的な探究の時間)

グローバル探究Ⅰ	手法・ツールを学び、テーマを決める
グローバル探究Ⅱ	仮説検証を繰り返す
グローバル探究Ⅲ	論文を作成しまとめる

②これまでの「グローバル探究」の成果と課題

成果	・「平野メソッド」という手法・ツールを確立
課題	・生徒全員がより主体的に探究に向かう姿勢

生徒が授業づくりに関わることでより主体性を高める

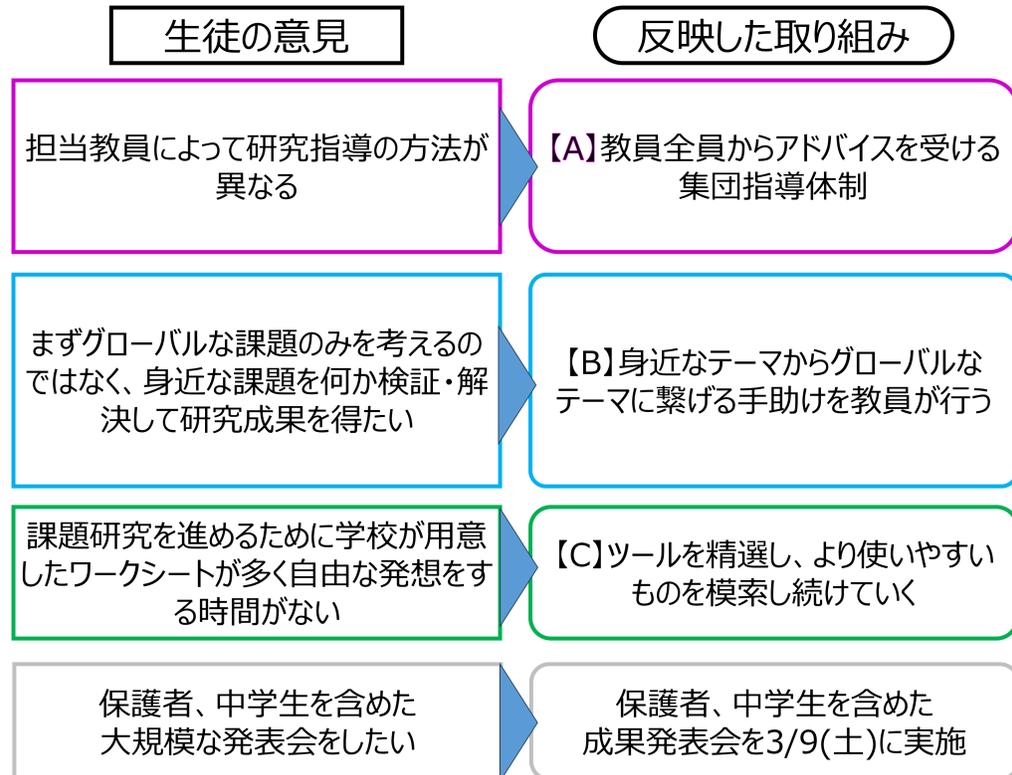
③ 「探プラ」の立ち上げ

- ・委員会活動ではない有志活動
- ・不定期で放課後/昼休みに開催
- ・生徒の意見を取り入れた授業づくり
- ・1・2年生20～30名ほどが集まる



「探プラ」で議論する様子

④ 成果



⑤ 考察

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない
【A】は客観的に振り返る上で効果があると思いますか。	44%	46%	10%
【B】は論理的に分析・考察する上で効果があると思いますか。	46%	39%	16%
【C】は新たな仮説を設定する上で効果があると思いますか。	37%	47%	16%
この授業を通じてステージⅣの目標に自分が到達できたと思いますか。	28%	51%	21%

今回行った一連の取り組みに対して、多くの生徒が「客観的に振り返る上で効果がある」「論理的に分析・考察する上で効果がある」「新たな仮説を設定する上で効果がある」と回答した。

【A】教員全員からアドバイスを受けつつチェックを受ける集団指導体制 については、生徒が複数の教員の意見を受けることで客観的に振り返ることに結びついていると考えられる。

【B】身近なテーマからグローバルなテーマに繋げる手助けを教員が行う については、身近なテーマであるがゆえにデータを集めやすく、論理的に分析・考察する上で効果があるという回答につながったと考えられる。

【C】生徒がツールを選んで使用する については、やや「そう思う」の値が低く、新たな仮説を設定する上で効果的なツールの有効活用にあまり結びついていないと感じる生徒が多いことが考えられる。

以上の結果より、この手法により総合的には生徒の主体性が育まれることを示唆する結果が得られた。